特定駐車場用泡消火設備　⑤

試験					種別・容量等の内容		結果
機能試験	加圧送水装置試験	呼水装置作動試験	減水警報装置作動状況		床面からの高さ	cm	
			自動給水装置作動状況		—		
			呼水槽からの水の補給状況		—		
		制御装置試験	起動・停止操作時の状況等		—		
			電源切替時の運転状況		—		
		起動装置試験	ポンプの起動状況		—		
			起動表示の点灯状況		—		
			起動用水圧開閉装置の作動圧力		設定圧力 作動圧力	MPa MPa	
		ポンプ試験	運転状況		—		
			※締切運転時の状況	締切揚程		m	
				電圧		V	
				電流		A	
			※定格負荷運転時の状況	定格揚程		m	
				電圧		V	
				電流		A	
		※水温上昇防止装置試験			逃し水量	L/min	
		※ポンプ性能試験装置試験			表示値の差	L	
		高架水槽を用いるもの	作動試験	給水装置作動状況			
			静水圧測定				
		圧力水槽を用いるもの	作動試験	給水装置作動状況			
				自動加圧装置作動状況			
			静水圧測定				
	配管耐圧試験				試験圧力	MPa	
	流水検知装置・表示等				—		
	一斉開放弁						

特定駐車場用泡消火設備　⑥

総合試験						結果
	放射試験		起動性能等		—	
			放射圧力		備考欄表参照	
			放射量		備考欄表参照	
	希釈容量濃度				%	
	発泡倍率				倍	
	25%還元時間				sec	
	制御盤	予備電源試験	電源の自動切替機能		—	
			端子電圧・容量		—	
	非常電源切替試験		自家発電設備		—	
			蓄電池設備		—	
			燃料電池設備		—	

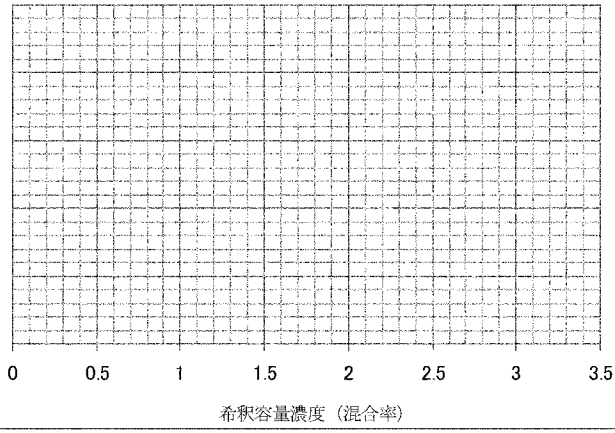
備考

放射試験の記入欄

区画	1	2	3					
放射圧力 MPa								
放射量 L/min								

放射量Qは、$Q=K\sqrt{10P}$で求める。K＝60、P＝放射圧力

屈折率計の読みと希釈容量濃度（混合率）



備考　1　この用紙の大きさは、日本工業規格A4とすること。
2　選択肢のある欄は、当該事項を○印で囲むこと。
3　※「加圧送水装置の基準」（平成9年消防庁告示第8号）に適合しているものとして、総務大臣又は消防庁長官が指定する登録認定機関の認定を受け、その表示が貼付されているものにあっては、省略することができる。
4　結果の欄には、良否を記入すること。
5　非常電源及び配線についての試験結果報告書を添付すること。
6　操作盤が設けられているものにあっては、操作盤についての試験結果報告書を添付すること。

附　則

この告示は公布の日から施行する。

○消防庁告示第十四号

消防法施行規則（昭和三十六年自治省令第六号）第三十一条の六第一項及び第四項の規定に基づき、消防法施行規則第三十一条の六第一項及び第三項の規定に基づく消防用設備等又は特殊消防用設備等の種類及び点検内容に応じて行う点検の期間、点検の方法並びに点検の結果についての報告書の様式（平成十六年消防庁告示第九号）を次のように改正する。

平成二十六年四月十四日　　消防庁長官　大石　利雄

第三の表中「二酸化炭素消火設備」を「不活性ガス消火設備」に、「並びに複合型居住施設用自動火災報知設備」を「、複合型居住施設用自動火災報知設備並びに特定駐車場用泡消火設備」に改める。